Nikon Nuvis S 2000

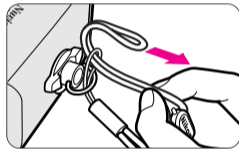
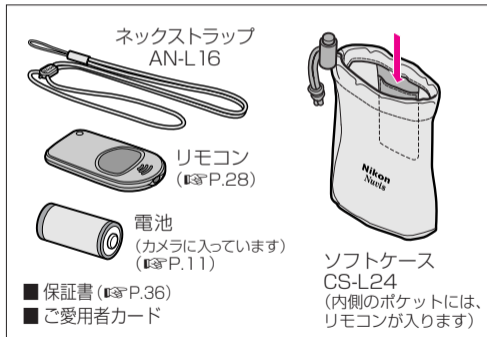
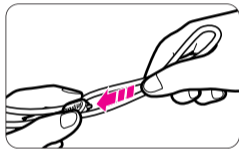
使用説明書

ADVANCED PHOTO SYSTEM™

J

はじめに

このたびは、ニコンNuvis（ニュービス）S 2000をお買い上げいただき、ありがとうございます。
Nuvis S 2000はアドバンストフォトシステムのIX240カートリッジフィルムを採用したカメラです。
アドバンストフォトシステム対応カメラには、シンボルマーク が表示されています。

付属品 次のものが揃っていることをお確かめください。

図のようにネックストラップを通します。
ストラップの止め具で長さを調節します。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。

表示と意味は次のようになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は、禁止(してはいけないこと)の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す)が描かれています。

アフターサービスと保証について

保証書とご愛用者カードが付いていますのでご確認ください。
保証書の詳細は、「アフターサービスと保証について」(☞P.36)をご覧ください。

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影の際には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するか確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸経費及び利益の喪失等に関する損害)については補償いたしかねます。

安全上のご注意

⚠ 警　告

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガをすることがあります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをすることがあります。

すぐに修理依頼を

電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る

発熱、発煙、焦げ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、火傷の原因となります。

すぐに修理依頼を

電池を取り出す際、火傷に十分注意すること。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり水をかけたりしないこと

発火したり感電することがあります。

使用禁止

可燃性ガスの雰囲気中で使用しないこと

爆発、火災の原因になることがあります。

見ないこと

ファインダーより直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害になることがあります。

禁　止

ストラップが首に巻き付かないようにすること

特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息することがあります。

放置禁止

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

使用禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤をカメラの清浄に使用しないこと

火災や健康障害の原因となります。
製品を破損します。

⚠ 注　意

発光禁止

目の近くでスピードライトを発光しないこと

一時的な視力障害になることがあります。

感電注意

ぬれた手で操作しないこと

感電の原因となります。

放置禁止

製品および付属品は、幼児の手の届かない所に保管すること

ケガをしたり付属品や電池を飲み込むおそれがあります。

切り換え禁止

プリントタイプの切り換えは、ファインダーをのぞいたまましないこと

指先やつめで目などを突き、ケガの原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注　意

保管注意

使用しないときは、スライドカバーを閉じて太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光がレンズに入射し、発火の原因となります。

移動禁止

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因となります。

歩行禁止

ファインダーをのぞきながら歩かないこと

つまずいたり、転倒したりしてケガの原因となります。

■使用説明書について

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、当社サービス機関で新しい使用説明書をお求めください(有料)。

禁　止

電池を火に入れたり、ショート、分解、加熱をしないこと

破裂、発火の原因となります。

使用注意

電池に表示された警告・注意を守ること

破裂、発火の原因となります。

使用注意

使用説明書に表示された電池を使用すること

発熱、発火の原因となります。

使用注意

万一電池の電解液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流すこと

目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けること

もくじ

はじめに／付属品 2
安全上のご注意／表示について 3
もくじ 7
各部の名称／表示パネル 8
このカメラは、こんなことができます 10

カンタン撮影ガイド

準備しよう！

電源を入れ、電池容量を確かめる／電池の交換 11
フィルムを入れる 12
IX240カートリッジフィルムについて 13
日付を入れる 14

撮影してみよう！

カメラの構え方／シャッターボタンの押し方 15
ファインダーを見る／プリントタイプを選ぶ 16
ズーミングする 17
ピントを合わせ、撮影する 18
ピントの合いにくいケース／パワーセーブモード 19
フィルムを取り出す 20
現像・プリントに出す 21
フィルムを途中で巻き戻す 21

応用撮影ガイド

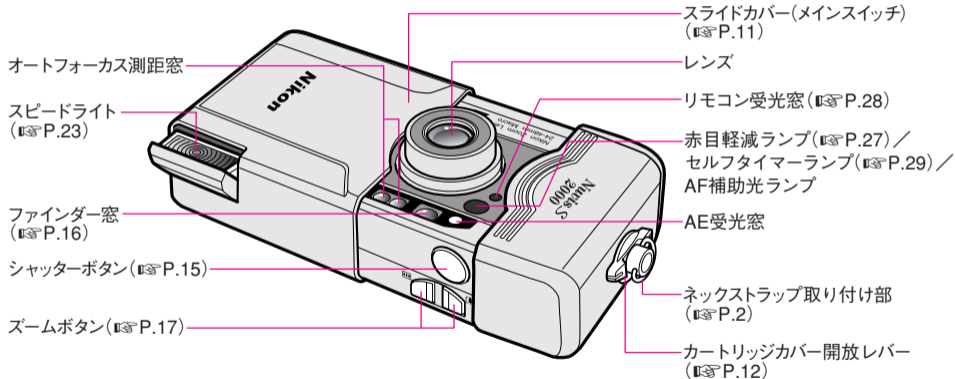
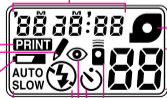
応用して楽しもう！

フォーカスロック撮影 22
いろいろなフラッシュ撮影 23
スピードライト自動発光撮影 23
スピードライトキャンセル撮影 24
スピードライト強制発光撮影 24
スローシンクロ撮影 25
いろいろな撮影モード 26
赤目軽減発光撮影 27
リモコン撮影 28
セルフタイマー撮影／近接撮影 29
タイトルを入れる 30
印字タイトル一覧表 31
日付と時刻を修正する 32

資料編

故障かな？と思ったら 34
アフターサービスと保証について 36
使用上のご注意 37
主な仕様 38

各部の名称

スライドカバー(メインスイッチ)
(☞P.11)
レンズ
リモコン受光窓(☞P.28)
赤目軽減ランプ(☞P.27)／
セルフタイマーランプ(☞P.29)／
AF補助光ランプ
AE受光窓
ネックストラップ取り付け部
(☞P.2)
カートリッジカバー開放レバー
(☞P.12)
オートフォーカス測距窓
スピードライト
(☞P.23)
ファインダー窓
(☞P.16)
シャッターボタン(☞P.15)
ズームボタン(☞P.17)
Nikon
Nuvis S 2000

ファインダー接眼窓（☞P.16）
オレンジランプ（SB表示＋巻き戻し表示）／緑ランプ（AF表示）（☞P.16）
(途中巻き戻し）ボタン（☞P.21）
TITLE（タイトルモード）ボタン（☞P.30）
(言語変更）ボタン（☞P.30）／
(スピードライトモード）ボタン（☞P.23～25）／
SEL（日付選択）ボタン（☞P.32）
プリントタイプ切り換えレバー（☞P.16）
表示パネル
DATE（日付モード）ボタン（☞P.14、32）
(タイトル変更）ボタン（☞P.30）／MODE（赤目軽減・セルフタイマー・リモコン）ボタン（☞P.26～29）／ADJUST（日付変更）ボタン（☞P.32）
カートリッジカバー（☞P.12）
三脚ネジ穴（☞P.24、25、28、29）
電池室カバー（☞P.11）
TITLE
MODE
ADJUST
DATE
SEL
BATT
表示パネル
デート表示（☞P.14）／タイトル表示（☞P.30）
カートリッジ在中表示（☞P.13）
データ記録表示（☞P.14、30）
フィルムカウンター表示（☞P.13）
バッテリーチェック表示（☞P.11）
リモコン／セルフタイマー表示（☞P.28、29）
スピードライトモード表示（☞P.23～25）
赤目軽減表示（☞P.27）
PRINT
AUTO
SLOW

このカメラは、こんなことができます

■ 縦横比が異なる3種類のプリントタイプが1コマごとに選べます。☞ P.16

P（パノラマ）タイプ
（縦横比 1：3）

H（ワイドビジョン）タイプ
（縦横比 9：16）

C（クラシック）タイプ
（縦横比 2：3）

■ 焦点距離24～48mmの2倍ズームが行えます。☞ P.17

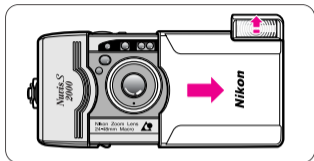
■ 写真のウラ面に、“メリークリスマス”“オメデトウ”などのタイトル文字を印字できます。☞ P.30

■ 暗い場所や逆光時には、フラッシュが自動的に発光します。☞ P.23

■ カメラから離れて、リモコンで撮影できます。☞ P.28

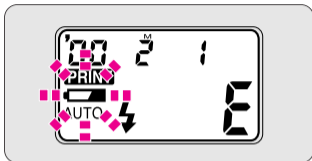
■ 被写体に40cmまで近づいて近接撮影できます。☞ P.16、18、29

■ 使用しないときは、スライドカバーがレンズ、ファインダー、表示パネル等を保護します。

準備しよう！

電源を入れ、電池容量を確かめる

1 スライドカバーを開ける。

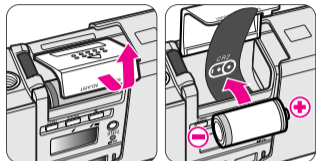
●スライドカバーを開けると電源がONになり、レンズとスピードライトが出てきます。カバーはカチッと音がするまで引いてください。

スライドカバーを閉じるときは、ゆっくり閉じてください。はじめにカバーを少しスライドさせて、レンズが収納されてから閉じるようにしてください。

2 電池容量を確かめる。

●電池容量が充分なときは、“▭”が表示されません。

●“▭”が点滅していたり、すべての液晶表示が消えているときは、新しい電池と交換してください。

●カメラを操作しないまま、約2分間経過すると、自動的に電源がOFFになります。（☞P.19）

電池の交換

電池を交換する。

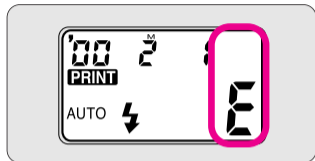
▼矢印方向にスライドして、電池室カバーを開ける。

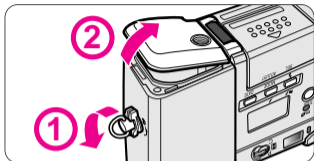
▼新しい電池と交換する。

▼電池室カバーを確実に閉じる。

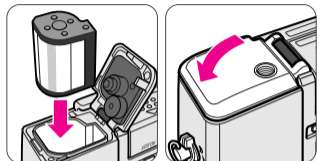
●3Vリチウム電池CR2を1個ご使用ください。

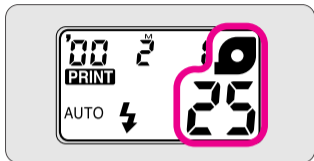
●電池を取り出すと、カメラの時計が停止します。日付・時刻を合わせてください。（☞P.32～33）

フィルムを入れる

1 スライドカバーを開け、“◘ ”の表示がないことを確認する。

- 表示パネルに枚数が表示されているときは、撮影途中のフィルムが入っています。
- “E”と“◘”が表示されているときは、撮影済みフィルムが入っています。フィルムを取り出してください。（☞P.20）

2 カートリッジカバーを開ける。

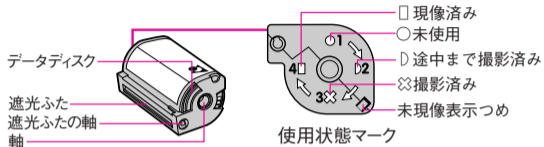
▼**カートリッジカバー開放レバーを矢印方向に回し、カートリッジカバーを開ける。**

> フィルムが装てんされているときは、カートリッジカバーのロック機構が働いていますので、カートリッジカバーを無理に開けないでください。また、巻き戻しが完了しモータが止まるまで、カートリッジカバーを絶対に開けないでください。

3 フィルムを入れ、カートリッジカバーを閉じる。

- IX240カートリッジフィルムをご使用ください。（従来の35mmフィルムは使用できません）
- 使用状態マークが“○”（未使用）であることを確認してください。（☞P.13）
- カートリッジカバーはカチッと音がするまで、しっかり閉じてください。

4 撮影可能枚数および"◪"の表示を確かめる。

●撮影可能枚数が表示されないときは、フィルムを入れ直してください。

●使用状態マークが"⛝"(撮影済み)、"◗"(途中まで撮影済み)、"▯"(現像済み)のフィルムを入れると、"E"が点滅します。

IX240カートリッジフィルムについて

●IX240カートリッジフィルムには、40枚・25枚・15枚撮りの3種類のフィルムがあります。

●フィルムの先端部分は、カートリッジ内に収納されていますが、カメラに装てんすると自動的に引き出されて撮影可能な状態になります。

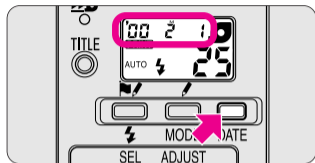
●カートリッジの使用状態マークはフィルムの使用状態を4段階で示します。

取り扱い上のご注意

●データディスク・遮光ふたまたは軸に触れたり、分解したり、強い衝撃を与えないでください。

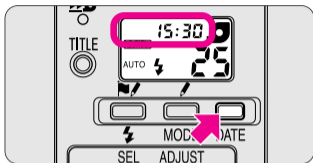
●未現像表示つめを折らないでください。折れたときは、フィルム販売店などにご相談ください。

●次のような所に放置しないでください。
- ・直射日光が当たる
- ・暖房器具の近く
- ・チリやホコリが多い
- ・湿気が多い
- ・強い磁気がある

日付を入れる

日付表示を選ぶ。

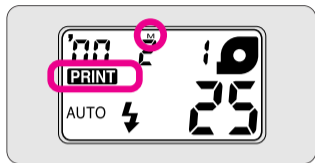
▼DATEボタンを押す。

●年は西暦の下2桁で、時分は24時間制で表示・印字されます。イラストの例は“**2000年2月1日**”を表します。

●日付を入れないときは、“- - -”(印字なし)にしてください。

●DATEボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

●“- - -”が表示された状態でDATEボタンを2秒以上押し続けると、次のように切り換わります。

年 月 日 → 月 日 年 → 日 月 年

'00 2 1 → 2 1'00 → 1 2'00

●“PRINT”が表示されている状態で撮影すると、表示されている日付や時刻がプリントに印字され、“- - -”の場合には印字されません。

●“M”は月を示しますが、プリントには印字されません。

●プリントに印字される位置は、認定ラボ店にお問い合わせください。

●日付・時刻を合わせる場合は、「日付と時刻を修正する」(☞P.32)をご覧ください。

カメラの構え方

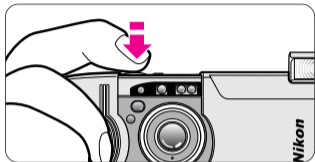
●両ひじを体につけながら、手のひらに包みこむようにして、カメラを顔に軽く押し当てるようにします。

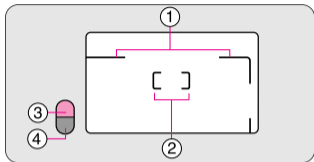
●スピードライトを押さえ込まないように注意してください。(上から押さえたときは、オレンジランプが点滅して警告します。このときシャッターを切ってもスピードライトは発光しません。)

●縦位置に構える場合は、スピードライトが上になるようにしてください。

●しっかりと構えることで、手ブレを防止できます。

手や髪の毛などで、レンズ、オートフォーカス測距窓やスピードライトなどをおおわないでください。

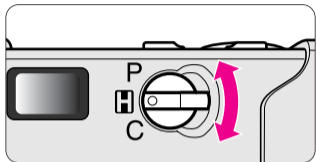
シャッターボタンの押し方

シャッターボタンを軽く押して途中で止める操作を"半押し"と呼びます。半押しするとピントと露出が決まり、緑ランプが点灯します。半押し中はピントが固定(フォーカスロック☞P.22)されます。半押しから、さらに押し込むとシャッターがきれます。

ファインダーを見る

①近距離補正マーク
撮影距離が約0.4～1mのときに撮影される範囲です。

②オートフォーカスフレーム
ピントを合わせる部分です。

③オレンジランプ
フラッシュの充電が完了すると点灯し、未充電のときやフィルムの巻戻し中は点滅します。また、スピードライトが正しくセットされていないとき(ポップアップ不良)には、点滅して警告します。

④緑ランプ
ピントが合うと点灯し、ピントが合わないときや、被写体までの距離が約0.4m未満のときは点滅します。

プリントタイプを選ぶ

撮影の前に、切り換えレバーでプリントタイプを選ぶ。

- 3種類のプリントタイプ(P／H／C)が選べます(☞P.10)。タイプによって撮影範囲フレームが異なります。
- プリントタイプは、焼き増しの際に変更することもできます。

注意

ファインダーをのぞいた状態で切り換えレバーを操作しないこと
指先やつめで目などを突き、ケガの原因となります。

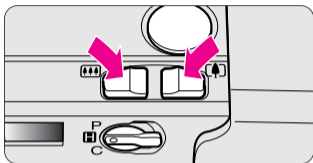
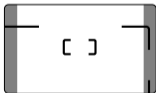
撮影範囲フレーム

プリントタイプ(P/H/C)によって見える(撮影される)範囲が異なります。

Pタイプ
(縦横比 1：3)

Hタイプ
(縦横比 9：16)

Cタイプ
(縦横比 2：3)
(従来の35mmフィルムと同じ縦横比)

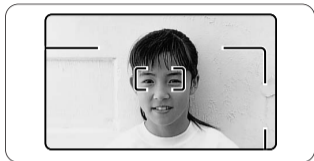
ズーミングする

ズームボタンを押して被写体の大きさを決める。

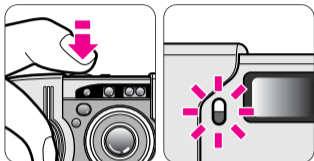
▼好みの大きさになったら、ズームボタンから指を離す。

●カメラを操作しないまま、約2分間経過すると、自動的にレンズが [広角マーク](広角)側に戻ります。(☞P.19)

[望遠マーク] 側に押すと、望遠(48mm)側になり、遠くのものを大きく撮れます。

[広角マーク] 側に押すと、広角(24mm)側になり、広い範囲が撮れます。

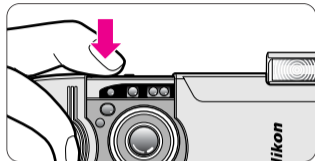
ピントを合わせ、撮影する

1 構図を決める。

●ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを重ねてください。
●ピントが合う最短撮影距離は、約0.4mです。

2 ピントを合わせる。

▼**シャッターボタンを半押しする。**
●ピント合わせが完了すると、緑ランプが点灯します。

緑ランプが点滅する場合

遅い点滅：撮影距離が0.4m未満なのでシャッターはきれません。

早い点滅：“ピントが合いにくいケース”(☞P.19)です。シャッターは、きれますが、ピントが合っていません。

3 シャッターボタンをゆっくり押し込む。

●被写体が暗いときや逆光時には、フラッシュが自動的に発光します。(☞P.23～25)
●撮影されると、表示パネルの撮影可能枚数が1枚ずつ減ります。
●一気にシャッターボタンを押すと手ブレの原因となります。

撮影後は、スライドカバーを閉じて、電池の消耗を防いでください。

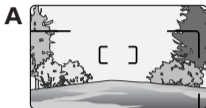
ピントの合いにくいケース

次のような被写体はピントが合いにくいので、フォーカスロック(☞P.22)を利用して、ほぼ同じ距離にある別の被写体に一度ピントを合わせてから撮影してください。

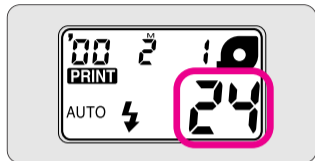
A 青空など、明暗差がはっきりしない被写体、または光っている車のボディや水面など光沢のあるもの

B 連続した繰り返しパターンの被写体

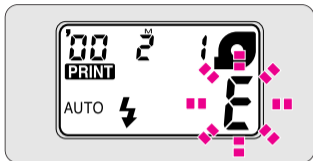
C フォーカスフレーム内に遠いものと近いものが混在する被写体

D 太陽などの強い光を背景にした被写体

A
B
C
D
パワーセーブモード

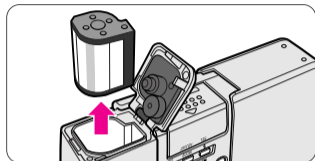
- ●スライドカバーを開け、電源がONのまま、カメラを何も操作しない状態が約2分間続くと、自動的に電源がOFFになり、電池の無駄な消耗を防ぎます。この状態をパワーセーブモードと呼びます。なお、レンズは[広角アイコン](広角)側に戻り、表示パネルも消灯します。
- ●どれかのボタンを押すと、電源は再びONになります。シャッターボタンは、半押しで電源がONになります。
- ●パワーセーブモードでは、かんたんに電源がONになってしまいますので、撮影後は、スライドカバーを閉じて、電源をOFFにしてください。

フィルムを取り出す

1 自動的に巻き戻しが始まる。

●フィルムを撮り終わると、自動的に巻き戻しが始まり、オレンジランプが点滅し、フィルムカウンターの数値が1枚ずつ減ります。

●撮影可能枚数が表示されているときは、撮り終わっていません。途中でフィルムを取り出したい場合は、途中巻き戻しを行ってください。(☞P.21)

2 “E”の点滅を確かめる。

●巻き戻しが終了すると“E”が点滅します。

●電池容量不足のために巻き戻しが途中で止まったときは、電池を交換すると、巻き戻しが自動的に再開されます。

3 カートリッジカバーを開け、フィルムを取り出す。

“E”が点滅するまで、カートリッジカバーを開けないでください。

●カートリッジの落下を防止するため、カメラの底面を上にしてカートリッジカバーを開けてください。

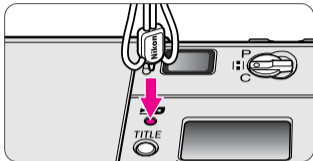
現像・プリントに出す

●フィルムの現像・プリントは、上記の「認定ラボ店マーク」があるお店に出すことをおすすめします。

●現像されたフィルムは、カートリッジに収納されて返却されます。

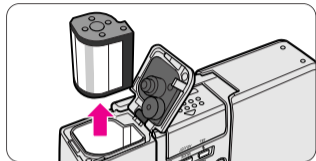
●すべての写真をまとめたインデックスプリントが添付されます。

●詳細はお店にお問い合わせください。

フィルムを途中で巻き戻す

1 ▶▶ ボタンを押す。

●ストラップの止め具の突起やボールペンの先端などで押してください。

●巻き戻しが始まればボタンを押し続ける必要はありません。

●巻き戻しが終了すると、“E”が点滅します。“E”が点滅するまでカートリッジカバーを開けないでください。

2 フィルムを取り出す。

▼**カートリッジカバーを開ける。**

▼**フィルムを取り出す。**

途中巻き戻しを行ったフィルムは再使用できなくなりますので、ご注意ください。

フォーカスロック撮影

写したいものが画面中央にないときに

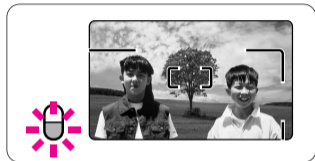
1 構図を決める。

●上のような場合、写したい被写体がオートフォーカスフレーム“[ ]”から外れるため、背景にピントが合ってしまいます。

2 写したいものにピントを合わせる。

▼写したいものにオートフォーカスフレームを重ねる。

▼シャッターボタンを半押しする。

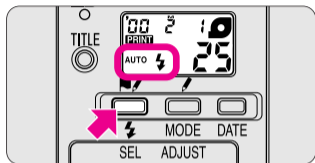
●ピントが合うと緑ランプが点灯します。

3 構図を戻し、撮影する。

▼シャッターボタンを半押ししたまま、構図を戻す。

▼シャッターボタンを押し込む。

●半押し中は、ピントが固定(フォーカスロック)されます。

●撮影距離は変えないでください。

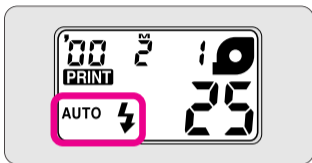
いろいろなフラッシュ撮影

ϟボタンを押して、以下のモードを選ぶ。

●詳細は参照ページをご覧ください。

AUTO ϟ　スピードライト自動発光（☞P.23）
↓
スピードライトキャンセル（☞P.24）
↓
ϟ　スピードライト強制発光（☞P.24）
↓
AUTO SLOW ϟ　スローシンクロ（☞P.25）

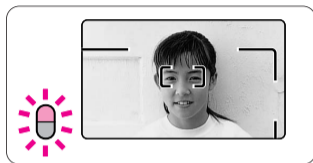
●電源をOFFにしたときは、スピードライト自動発光モードに戻ります。

スピードライト自動発光撮影

被写体が暗いときや逆光時には、フラッシュが自動発光します。

1 スライドカバーを開ける。

●スライドカバーを開けると、電源がONになり、"**AUTO ϟ**"が表示され、スピードライト自動発光モードにセットされます。

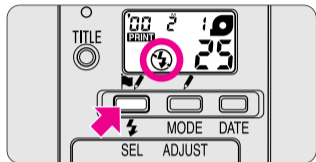
●被写体が暗い場合または逆光の場合、フラッシュが自動的に発光します。

●被写体が明るいと、" "が点灯してフラッシュは発光しません。このときオレンジランプは点灯しません。

2 オレンジと緑のランプの点灯を確認し、撮影する。

●フラッシュ撮影時の撮影距離は下記を目安にしてください。（ISO 200）
（広角）24mm時：約0.4～5m
（望遠）48mm時：約0.4～2.8m

●フラッシュが充電中はオレンジランプが点滅し、シャッターがきれません。約6秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

スピードライトキャンセル撮影

フラッシュ撮影が禁止されているときや、夜景の雰囲気を生かしたいときに。

1 ⚡ボタンを押して、"⊘"を表示させる。

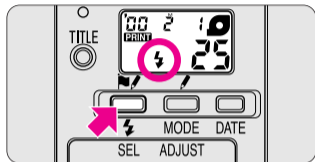
●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいため、三脚の使用をおすすめします。

2 構図を決め、撮影する。

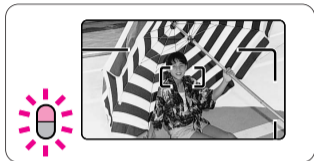
▼シャッターボタンを半押しする。

▼緑ランプの点灯を確認後、撮影する。

スピードライト強制発

周りの明るさに関係なく、意図的に

1 ⚡ボタンを押して、"⚡"を表示させる。

光撮影

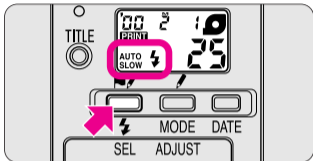
フラッシュを発光させたいときに。

2 構図を決め、撮影する。

▼シャッターボタンを半押しする。

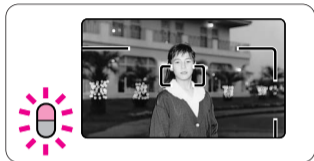
▼オレンジと緑のランプの点灯を確認後、撮影する。

●オレンジランプが点滅しているときは、約6秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

スローシンクロ撮影

背景となる夜景と手前の人物の両方を、自然な感じに写したいときに。

1 ボタンを押して、"AUTO SLOW "を表示させる。

●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいため、三脚の使用をおすすめします。

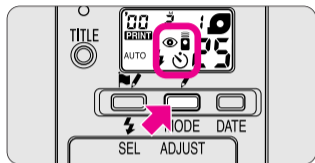
●被写体が明るいと、" "が点灯してフラッシュは発光しません。このときオレンジランプは点灯しません。

2 構図を決め、撮影する。

▼シャッターボタンを半押しする。

▼オレンジと緑のランプの点灯を確認後、撮影する。

●オレンジランプが点滅しているときは、約6秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

いろいろな撮影モード

撮影の目的に合わせて、赤目軽減発光撮影、リモコンモード撮影やセルフタイマー撮影が選べます。

MODEボタンを押して、希望のモードを選びます。

●詳細は参照ページをご覧ください。

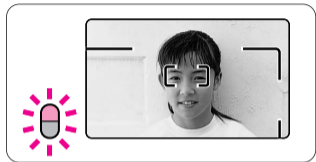
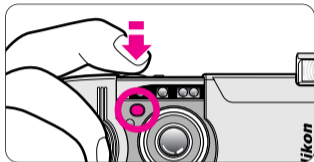
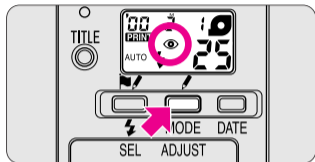
（表示なし）**解 除**

赤目軽減発光撮影
フラッシュ撮影時、目が赤く撮影される現象を軽減させる
（☞P.27）

リモコン撮影
カメラから離れてシャッターをきる （☞P.28）

セルフタイマー撮影
記念撮影や撮影者自身の撮影 （☞P.29）

赤目軽減発光撮影

フラッシュの光で目が赤く写るのを軽減したいときに。

1 MODEボタンを押して、“👁”を表示させる。

2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする。

●フラッシュの発光前に、赤目軽減ランプを約1秒間照射させますので、フラッシュが発光するまでカメラを動かしたり被写体が動いたりしないように注意してください。

●赤目軽減発光撮影は、シャッターチャンスを優先させる撮影にはおすすめできません。

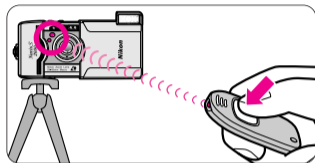
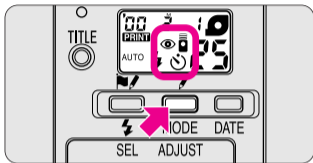
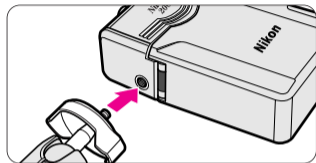
3 オレンジと緑のランプの点灯を確認後、撮影する。

●オレンジランプが点滅しているときは、約6秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

●赤目軽減発光を必要としない場合は、MODEボタンを押して、“👁”を消灯させてください。赤目軽減発光は、電源をOFFにしても解除されません。

●赤目軽減発光とスピードライトキャンセルは同時にセットできますが、この場合赤目軽減発光撮影は行われません。

リモコン撮影

記念撮影などで離れたところからシャッターをきりたいときに。

1 カメラを三脚などに固定する。

●リモコン撮影可能範囲は、カメラ正面で約5m以内です。それ以上の距離ではセルフタイマーで撮影してください。（☞P.29）

●極端な逆光状態では、リモコン撮影できない場合があります。

2 MODEボタンを押して、"👁 ▯ ⏲"を表示させる。

●撮影しないまま、約2分間経過したり、スライドカバーを閉じるとリモコンモードが解除されます。

●リモコン撮影後2分以内であれば、続けてリモコン撮影できます。

3 構図を決め、撮影する。

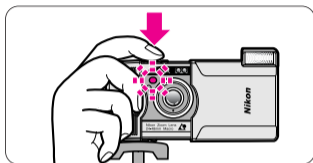
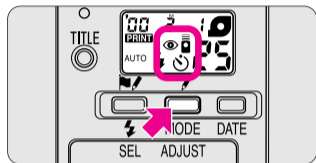
▼**リモコンをカメラに向けて、送信ボタンを押す。**

●送信ボタンを押すと、赤目軽減ランプが約2秒間点灯してから、シャッターがきれます。

●リモコンの電池の使用期間は約10年間です。送信ボタンを押してもシャッターがきれなくなったら、当社サービス機関で電池を交換してください（有料）。

セルフタイマー撮影

記念撮影など、撮影者自身も一緒に写りたいときに。

1 MODEボタンを押して、“👁▮ᐤ”を表示させる。

●撮影しないまま約2分間経過したり、スライドカバーを閉じると、セルフタイマーモードが解除されます。

●カメラを三脚などに固定することをおすすめします。

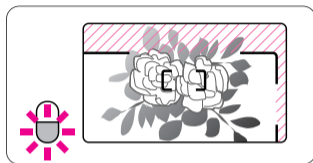
2 構図を決め、シャッターボタンを押す。

●シャッターボタンを押すと、赤目軽減ランプが8秒間点滅後、2秒間点灯してシャッターがきれます。

●撮影後、セルフタイマーモードは解除されます。

●途中で解除したい場合は、スライドカバーを閉じてください。

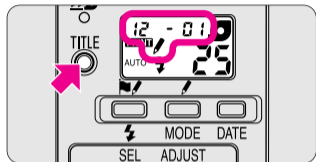
近接撮影

花などを大きく写したいときに。

●撮影距離が約0.4～1mの場合は、上の //// の部分は写りません。近距離補正マークの枠内で構図を決めてください。

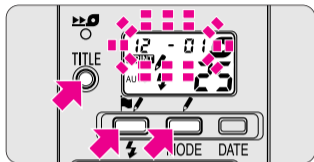
●撮影距離が約0.4mより近くなると、緑ランプがゆっくり点滅し､シャッターがきれません。

●さらに近づきすぎると、緑ランプが早い点滅に変わり、シャッターはきれますが、ピントは合いません。

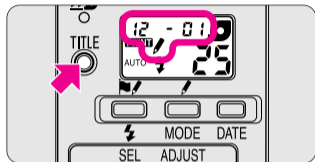
タイトルを入れる

写真のウラ面にタイトルを印字させたいときに。

1 言語／タイトルコードを表示する。

▼TITLEボタンを押し、"✎"および言語／タイトルのコードを表示させる。

●タイトルは30種類、言語は12種類の中から選べます。

2 言語／タイトルコードを変更する。

▼TITLEボタンを2秒以上押して、コードを点滅させる。

▼言語コードは⚑✎ボタンを押し、タイトルコードは✎ボタンを押して、変更します。各ボタンは、押し続けると早送りされます。

3 言語／タイトルコードを確定する。

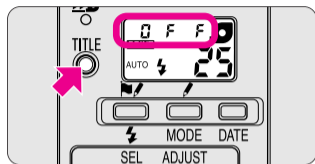
▼TITLEボタンを押して、コードの点滅を点灯に変え、撮影する。

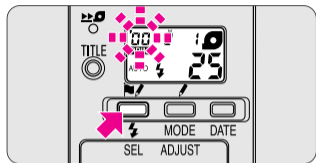
●"✎"が表示されていれば、DATEボタンを押して、日付を表示させてもタイトルは入ります。

印字タイトル一覧表

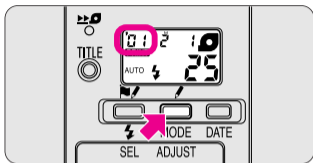
言語コードと言語	
コード	言語
1	デンマーク語
2	フィンランド語
3	フランス語
4	ドイツ語
5	イタリア語
6	日本語
8	ノルウェー語
9	ポルトガル語
10	スペイン語
11	スウェーデン語
12	イギリス英語
13	アメリカ英語

タイトルコードとタイトル			
コード	タイトル	コード	タイトル
01	アケマシテオメデトウ	16	パーティ
02	ハツモウデ	17	アイラブユー
03	セイジンシキ	18	アリガトウ
04	セツブン	19	オタンジョウビオメデトウ
05	ヒナマツリ	20	オメデトウ
06	ソツギョウ	21	リョコウ
07	ニュウガク	22	ドウソウカイ
08	コドモノヒ	23	エンソク
09	タナバタ	24	サイコー！
10	ナツヤスミ	25	カンゲキ！
11	ウンドウカイ	26	コンナニオオキクナリマシタ
12	シチゴサン	27	キレイ！
13	メリークリスマス	28	シュウガクリョコウ
14	ボウネンカイ	29	ガンバレ
15	シンコンリョコウ	30	ウレシイナ

日本語以外のタイトルは、別紙の「印字タイトル一覧表」をご覧ください。

●タイトルを入れない場合は、TITLEボタンを押して、“✎”および言語／タイトルコードの表示を消してください。
TITLEボタンを押すと、“OFF”が2秒間点灯後、日付の表示に戻ります。

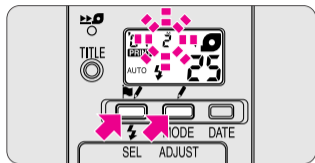
日付と時刻を修正する

1 修正モードにする。

▼SEL（日付選択）ボタンを2秒以上押し続ける。

●“年”が点滅します。

2 年を合わせる。

▼ADJUST（日付変更）ボタンを押して、年を合わせる。

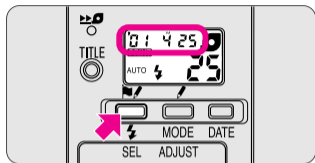
●ADJUSTボタンを押すごとに、“1”ずつ数字が増えます。

●ADJUSTボタンを2秒以上押し続けると、数字が早送りされます。

3 月の修正に移る。

▼年を合わせたら、SELボタンを押し、月を点滅させる。

▼ADJUSTボタンを押して、月を合わせる。

▼SELボタンを押す。

●手順2と3を繰り返し、“日・時・分”を合わせます。

4 修正を終える。

▼分を合わせたら、SELボタンを押す。

●SELボタンを押すと修正された日付が表示されます。

●修正途中に、その他のボタンを操作すると、その時の状態で設定されます。

●イラストの例は"**2001年4月25日**"にセットした状態を表わします。

電池を交換した場合

●電池を交換すると、表示パネルには00 0 00が表示されます。

●00 0 00の表示のまま撮影すると、日付や時刻は記録されません。

●前ページの手順1～4に従って、"年月日"と"時分"を合わせてください。

故障かな？と思ったら

次のような場合、アフターサービスを依頼される前にご確認ください。

こんなときには	ここを確かめてください	参照ページ
“シャッターがきれない”	● シャッターボタンを半押ししたときオレンジランプが点滅していたら、スピードライトが充電中で、シャッターはきれません。ボタンから指を離して、約6秒後再度半押ししオレンジランプが点灯してから撮影してください。 ● 緑ランプがゆっくり点滅していたら、被写体までの距離が近過ぎます。約40cm以上離れてください。	16、23 16、18
“スピードライトが発光しない”	● シャッターボタンを半押ししたときオレンジランプが点滅していたら、スピードライトが充電中で、シャッターはきれません。ボタンから指を離して、約6秒後再度半押ししオレンジランプが点灯してから撮影してください。 ● 電池容量を確認して、消耗していたら新しい電池と交換してください。 ● 表示パネルに“⚡︎”マークが表示されているときは、発光しません。	16、23 11 23~25
“ピントが合っていない”	● オートフォーカス測距窓がよごれていたら、拭き取ってください。 ● 手ブレを起こさないように、シャッターボタンをゆっくり押してください。 ● ピントが合いにくい被写体の場合は、オートフォーカスフレームを確実に被写体に合わせてください。または、フォーカスロック撮影を行ってください。	8、15 15 19、22
“カートリッジカバーが開かない”	● フィルムを撮り終えていません。フィルムを撮り終えるか、途中巻き戻しを行って、フィルムの巻き戻しを完了させてください。	20、21

こんなときには	ここを確かめてください	参照ページ
“スライドカバーを開けても表示パネルに何も表示されない”	● 電池の㊉／㊀の向きを確かめてください。 ● 電池の容量が不足しているか、電池が入っていません。新しい電池を入れてください。 ● 新しい電池を入れても、何も表示されない場合は、故障です。ご購入店·カメラ店または最寄りの当社サービス機関へ修理を依頼してください。	11 11 裏表紙
“リモコンの送信ボタンを押してもシャッターがきれない”	● リモコン操作の距離が遠すぎるときは、カメラに近づいてください。 ● リモコンに強い光があたっている場合は、リモコンの位置を変えてください。 ● リモコンの電池の使用期限(約10年間)を過ぎているときは、当社サービス機関で交換してください。ご自分では交換できません。 ● リモコン表示を点灯させた後、何もしない状態が2分以上経過したときは、再度リモコン表示を点灯させてください。	28 28 裏表紙 28

電子制御カメラの特性について

きわめて稀なケースとして、外部から強力な静電気などが侵入したことで、カメラが作動しなくなることがあります。万一このような状態になったときは、電池を一度抜いて入れ直してください。電池を抜くと日付・時刻がリセットされるので、その場合は、日付・時刻を合わせ直してください。(☞P.32)

アフターサービスと保証について

■この製品についてのお問い合わせは

ご意見、ご質問は、最寄りのニコンサービスセンター、サービスステーション等、当社サービス機関へお問い合わせください。

当社サービス機関につきましては、使用説明書裏表紙をご覧ください。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、または当社サービス機関にご依頼ください。

ご転居、ご贈答品などの理由で、ご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店または当社サービス機関にご相談ください。

■補修用性能部品について

ニコンNuvis S 2000の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間を目安としております。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後におきましても修理可能な場合もありますので、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。
- 水没、火災、落下などによる故障または破損で、全損と認められた場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

■製品の保証について

(1) この製品には「保証書」がついていますので、ご確認ください。

(2) 「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様にお渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」がすべて記入された「保証書」をお受け取りになり、内容をお読みの上、大切に保管してください。

(3) 保証規定による保証修理は、ご購入から1年間となっております。「保証書」をお受け取りになりませんと上述の保証修理が受けられないことになりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

(4) 海外での保証内修理は領収書の提示を求められることがありますので、保証書とともに領収書の携行をお願い致します（領収書がない場合は有料となる場合があります）。

(5) 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。

(6) 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスにご不明なことがありましたら、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

使用上のご注意

カメラについて

●カメラをご使用にならないときは、必ず電源をOFFにしてください。電源がONの状態のままですと、不用意にシャッターボタンが押されて、電池が消耗することがあります。
●Nuvis S 2000は、防水構造ではありません。水しぶきなどがかからない場所で使用してください。もし水滴がついた場合はすぐに乾いた布でふき取ってください。
●閉めきった自動車やトランクの中、ストーブの前など、高温になるところに放置しないでください。
●カメラを保管する際は、高温多湿・ホコリっぽい場所、また防虫剤の近くを避けてください。乾燥剤と一緒に保管することをおすすめします。
●スピードライトを連続して発光すると、電池やカメラの温度が上昇します。休ませながら使用してください。
●落としたり、強い衝撃を与えないでください。
●ホコリや汚れは、乾いた柔らかい布・市販のブロワーブラシやレンズクリーナーなどで取り除いてください。
●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。また、スピードライトのコンデンサの劣化を防ぐため、1ヵ月に1度を目安に、電池を入れてスピードライトを発光させてください。

電池について

●付属の電池は、容量が少なくなっている場合があります。ご使用の前に、電池の容量を確認してください。(☞P.11)
●大切な撮影の前には、必ず電池の容量を確認し、海外旅行などの際には、予備の電池をご用意ください。
●寒冷地(0℃以下)では、一時的に性能が低下しますので、暖めてからご使用ください。なお、一時的に性能が低下した電池は、通常、常温に戻れば性能を回復します。

IX240フィルムについて

●海外旅行などで、地域によってはフィルムの入手が困難な場合があります。予備のフィルムを用意しておくことをおすすめします。

主な仕様

型式
ズームレンズ内蔵IX240オートフォーカスAEレンズシャッターカメラ

使用フィルム
IX240カートリッジフィルム（画面サイズ：16.7×30.2mm）

プリントタイプの切り換え
C／H／Pの3タイプのいずれかを選択可能

レンズ
ニコンズームレンズ24～48mm　F4.5～8.2、5群5枚（35mm判換算：30～60mm）

シャッター
プログラムAE式電子シャッター（絞り羽根兼用）、シャッター速度2.5～1/500秒

ファインダー
実像式ズームファインダー、視野率：約85%（Hプリントタイプに対して）、倍率（24mm時：約0.32倍、48mm時：約0.56倍）

ファインダー表示
撮影範囲フレーム（P／H／Cタイプ、近距離補正マーク付）、オートフォーカスフレーム、スピードライト発光予告／未充電警告（オレンジランプ点灯／点滅4Hz）、ポップアップ不良警告（オレンジランプ点滅8Hz）、測距完了表示（緑ランプ点灯）、近距離警告（緑ランプ点滅2Hz）、測距不能警告（緑ランプ点滅8Hz）、フィルム巻戻し中表示（オレンジランプ点滅4Hz）

距離合わせ
ワイドエリアパッシブ方式、撮影距離：0.4m～∞、補助光付き（赤目軽減ランプ兼用）

フォーカスロック
シャッターボタン半押しによるフォーカスロック付き

露出制御
電子制御プログラムAE、AE連動範囲（ISO200）：EV6～17（24mm）／EV6～18（48mm）、スピードライト自動発光

使用可能フィルム感度
ISO 50、100、200、400、800は自動セット

フィルム装てん
ワンタッチローディング空送り機構内蔵、フィルム誤装てん防止機能付、カートリッジカバーロック機構

フィルムカウンター
撮影可能枚数を表示

セルフタイマー
電子制御式、シャッターボタンによるスタート、ボディ正面に作動表示（作動時間：10秒、点滅／点灯2段階）

フィルム巻き上げ機能
内蔵モータによる電動式（スプールドライブ方式）、自動空送り、フィルム最終コマ検出による自動巻き戻し、途中巻き戻し可

リモートコントロール機能
専用赤外光を利用、送信ボタンによるスタート、2秒後にシャッター作動、設定時間：約2分、到達距離：カメラ正面で約5m、ボディ正面に作動表示、送信機電池使用期限：約10年、大きさ：約60×27×10mm（幅×高さ×厚み）、質量（重さ）：約13g（電池含む）

スピードライト
自動発光、強制発光、スローシンクロ、発光禁止の4モード切り換え可能、スピードライト自動発光時は低輝度／逆光時自動発光、未充電時シャッターボタンロック付、スピードライト連動範囲：（ISO 200の場合）約0.4〜5m（24mm時）約0.4〜2.8m（48mm時）、充電時間：約6秒

赤目軽減モード
設定時、スピードライト発光する場合にランププリ照射（約1秒間点灯）

撮影可能本数
25枚撮りフィルム約10本（50%スピードライト撮影時）

表示パネル
電源スイッチON時：フィルムカウンター表示、スピードライトモード表示、赤目軽減表示、セルフタイマー表示／リモコン表示、カートリッジ在中表示、バッテリーチェック表示、タイトル表示／デート表示、データ記録表示

使用電源
3Vリチウム電池 CR2×1個

データ記録機能
磁気記録方式、デート／タイトル指定機能

デートの種類：年・月・日・時・分（24時間制）、[年・月・日]、[月・日・年]、[日・月・年]、[時・分]、[記録なし]（切り換えは押しボタン式、2039年まで月末、うるう年自動調整、データ早送り修正可能）、電源：ボディの電源を使用、時計精度：月差±90秒以内

タイトル記録機能：12言語、各30タイトルをプリント裏面に印字可能

大きさ（幅×高さ×奥行き）
約89×60.5×29mm（スライドカバー閉時）
約122.5×60.5×29mm（スライドカバー開時）

質 量（重さ）
約140g（電池別）

- データはすべて、20℃、新品電池使用時のものです。
- 製品の外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。